

日高支部だより

2013.vol 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成25年 2月28日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町堺町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

平成25年度日高支部通常総会開催

～一般社団法人として、新たな船出～

3月に開催予定の一般社団法人北海道建築士会通常総会に先立ち、2月2日（土）、新ひだか町のホテルローレルにて、日高支部の通常総会が開催されました。

土井支部長のあいさつの後、長期にわたる支部活動への貢献に対し、5名の方が表彰されました。

村田 貞光 (新冠町)
佐々木 保 (新冠町)
山下 聡 (新ひだか町)
池 均 (新ひだか町)
高田 良一 (浦河町)

総会、報告会終了後は、懇親会が執り行われました。大取りを飾るのは、豪華？景品をかけた恒例の土井支部長とのジャンケン大会。

ここで1年の運をすべて使い果たしていなければ良いのですが・・・。

会員みなさん、今年もよろしくお願ひいたします。



その後、①会員の動静、②平成24年度事業報告、③平成24年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、①平成25年度事業計画（案）、②平成25年度収支予算（案）の2件の議案がすべて承認され、総会はつつがなく終了しました。

また、総会終了後、高橋幸二理事による新ひだか建設協会の海外研修の報告会が開催され、出席者は、熱心に耳を傾けていました。



平成25年度 日高支部 役員名簿

支部長	土井 宗太郎 (浦河町)
副支部長	木原 宗孝 (新ひだか町)
"	池田 尚登 (様似町)
会計理事	下神田 淳 (浦河町)
理事	藤江 睦博 (日高町)
"	津川 司 (平取町)
"	湯村 勝 (日高町)
"	山下 利幸 (新冠町)
"	齋藤 智光 (新冠町)
"	小松 和彦 (新ひだか町)
"	高橋 幸二 (新ひだか町)
"	山下 聡 (新ひだか町)
"	谷山 茂樹 (新ひだか町)
"	森田 正広 (新ひだか町)
"	三嶋 克昭 (新ひだか町)
"	池 均 (新ひだか町)
"	中村 一重 (新ひだか町)
"	中川 一彦 (浦河町)
"	手塚 和雪 (浦河町)
"	八谷 龍二 (様似町)
"	浜波 賢 (えりも町)
"	菊地 峰生 (えりも町)
"	石井 諭 (新ひだか町)
"	大谷 晃平 (浦河町)

日高支部だより

2013. vol. 2

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成25年 5月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
榎下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

青年建築士の集い（日高大会）開催

～基調講演や施設見学を通じて「ホッカイドウ競馬」を学ぶ～

5月18日（土）、日高町の門別競馬場において、平成25年度青年建築士の集い（日高大会）が開催されました。

この集いは、道青年委員会が道内4ブロックの持ち回りで、毎年開催しているもので、本年は、当支部が所属する道南ブロックが当番となっておりますが、現在、当支部の森青年委員長が、道南ブロック長を担っていることから、日高で開催する運びとなりました。

当日は、高野会長、吉木副会長にもご臨席いただく中、約70名の青年が参加し、ここ、日高の基幹産業である「軽種馬産業」の集大成ともいえる「ホッカイドウ競馬」について学びました。まずは、地元日高選出の藤沢澄雄 北海道議会議員による基調講演で、しっかりとホッカイドウ競馬の歴史、現在、そして未来について学び、その後、昨年4月から供用開始となっている屋内調教用坂路コースや場内見学を行いました。



基調講演、施設見学で学んだ後は、8つのグループに分かれてワークショップを行いました。テーマは「建築士が考えるホッカイドウ競馬の一工夫」。

結果発表では、駅から競馬場まで場所を走らせてはどうかとか、帯広競馬場のような複合施設化を目指してはどうかとか、馬の糞尿を利用したバイオマスを設置してはどうかなどといった意見が寄せられていました。その後、吉木副会長から総評をいただき、集いは無事終了。懇親会の会場である新ひだか町へと移動しました。

懇親会には、土井支部長に駆けつけていただき、歓迎のあいさつをいただきました。余興では、実際にホッカイドウ競馬であった3レースの名称を針ヶ谷賞（春）、YOSHIKI CUP、高野記念と擬えた競馬新聞を作成し、みんなで、競馬の醍醐味である勝ち馬予想に挑戦。たいへん盛り上がりました。

また、当日は、おじさん・お婆さんの集いという裏開催もあり、懇親会終わりの青年も合流する中、日付が変わるまで、大いに盛り上がりました。



日高の観光振興模索

道建築士会 青年委員会 若手70人が議論

【苫小牧】北海道建築士会の青年委員会（針ヶ谷拓己委員長）は18日、2013年度青年建築士の集い・日高大会を日高町内にある門別競馬場で開いた。全道から約70人が参加。若手建築士の目線から、同競馬場など日高地方に観光客を集める工夫について話し合った。

齋藤勝哉副委員長は「北海道にとって軽種馬は重要な産業。建築士ならではの視点でアドバイスを」と活発な議論を期待。高野寿世会長は「消費税増税前の駆け込み需要で忙しい日々を送っていると思うが、きょう得たことを生かしてほしい」と激励した。

現状やホッカイドウ競馬について説明を受けたほか、ことしから同競馬場で稼働する坂路施設などを見学した。

その後、8班に分かれたワークショップを開き、同競馬場や日高の観光振興対策について議論。各班の代表者が発表した意見からは「坂路施設の建設費が高く、維持管理が大変そう」「競馬場に馬車や乗馬など人を集



客する装置があれば「話題づくりに最寄り駅からタクシーとして馬車を走らせる」「看板が少なく分

8つに分かれたワークショップで議論した

かりにくい」などの意見が出た。

吉木隆副会長は「集客を見込むためには、豊かな自然環境や馬と触れ合う機会を通じ、来て楽しかったと思える仕掛けづくりが必要では」と総評した。

エアウオーターが大判

S i C 基板量産化へ

パワー半導体普及に貢献

エアウオーターは20日、LEDなどの下地に用いるシリコンカーバ

札幌起業セミナー

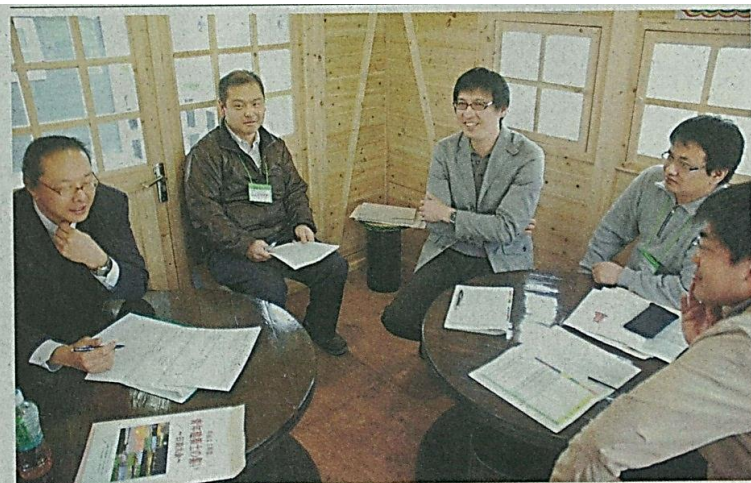
札幌地域管理研究所（札幌市豊平区月寒東2条20丁目5の10）▽河川流域管理の調査研究▽労働者派遣業▽測量調査、設計製図全般の請負▽河川流量、河道計画などの調査

競馬場など見学 まちづくり討論

道建築士会青年委

【日高】道建築士大会

青年委員会による「青年建築士の集い日高大会」が18日、門別競馬場で開かれ、全道から参加した約70人が日高



馬産地のまちづくりについて話し合う青年建築士たち

地方の基幹産業である軽種馬について理解を深めた。同委員会は道建築士会のうち、45歳ほどまでの会員で構成。大会ではまず、藤沢牧場（新ひだか町）取締役でオーナーフリーター（生産者兼馬主）でもある藤沢澄雄道議が、道営競馬や軽種馬産業について講演。屋内調教用坂路など競馬場内の施設見学も行った。

その後、8グループに分かれ、「馬産地のまちづくり」などをテーマに討論。

「観光施設をつなぐ馬車を走らせてはどうか」などの案のほか、競馬場内の施設について「もっと質の良い資材を使用すべきでは」となど専門的な意見も出された。

日高支部だより

2013. vol 3

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成25年 8月31日

発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

親睦ソフトボール大会開催

～ 4チームによる熱戦が繰り広げられる～

8月25日（日）、新ひだか町の静内川左岸緑地公園ソフトボール場において、例年恒例となっている親睦ソフトボール大会が開催されました。

心配された天候も会員みなさんの日々の行いが功を奏してか、晴天に恵まれる中、新冠町、新ひだか町、浦河町、えりも町の4チームによる熱戦が繰り広げられました。

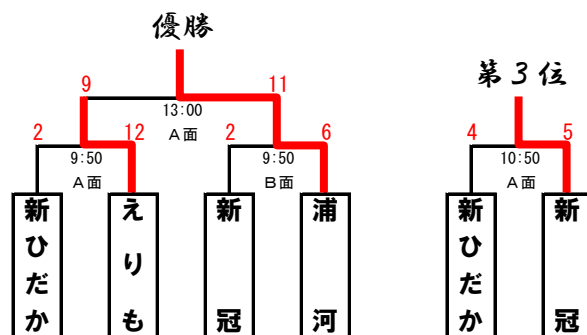
開会に先立ち、土井支部長から激励のあいさつをいただいた後、準決勝戦を行いました。

えりも町と浦河町の対戦となった決勝戦は、一進一退のゲーム展開となりましたが、最後は、浦河町がえりも町を振り切り、見事、優勝を勝ち取りました。

その後、表彰式を開催し、和やかな雰囲気のまま、親睦ソフトボール大会は、けが人を出すこともなく、無事終了しました。



新ひだか町とえりも町の対戦は、えりも町が打力で圧倒し、2対12と圧勝で決勝戦にコマを進めました。また、新冠町と浦河町の対戦は、2対6で浦河町が勝利。同じく決勝戦にコマを進めました。午前の部の締めとなる3位決定戦は、新ひだか町と新冠町の対戦となりましたが、地力で勝る新冠町が接戦を制し、4対5で勝利。ここで、昼食休憩に入りました。木原副支部長の乾杯の後には、生ビールと焼肉に舌鼓。決勝戦のことは忘れてのひとときでした。



日高支部だより

2013. vol 4

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：平成25年10月30日

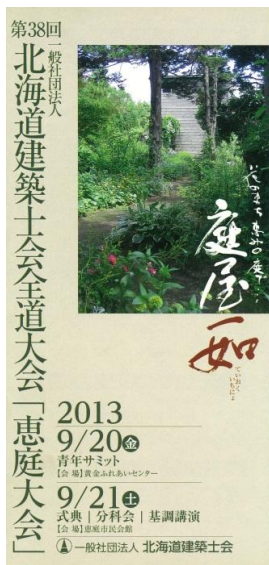
発行元：一般社団法人 北海道建築士会
日高支部
〒057-0034
浦河郡浦河町塚町西4丁目5-77
樹下神田組内
TEL 0146-22-3121
FAX 0146-22-3331

発行責任者：土井宗太郎

編集責任者：森 勝利

第38回北海道建築士会全道大会（恵庭大会）開催

～『庭屋一如』 花のまち、恵みの庭で・・・～



9月21日（土）、恵庭市の恵庭市民会館において、38回目を数える全道大会（恵庭大会）が開催され、土井支部長以下8名（うち青年4名）が出席しました。4つの分科会が開催された後、大会式典では、32名の会員に対し、会長表彰が授与されました。

また、大会前日には、青年サミットが開催され、当支部からも森青年委員長以下4名が出席しました。12のグループに分かれ、まちに繰り出し、恵庭市民の生の声を聴いた上で、『街並みづくり3カ条』を策定するというものでしたが、経験のないアンケート徴収に戸惑いながらも貴重な経験となりました。



青年サミット



分科会



大会式典

第56回建築士会全国大会（しまね大会）開催

～神集う國『しまね』すべてを引き寄せ縁結ぶ～



10月19日（土）、島根県松江市のくにびきメッセにおいて、56回目となる全国大会（しまね大会）が開催され、森青年委員長と亀田青年委員が出席しました。午前中は、青年委員会主催の実践活動交流セッションに参加、午後からは、マツダロードスターの開発に携わった貴島孝雄氏による記念講演会に引き続き、大会式典にも参加。式典のオープニングを飾った『石見神楽』は、まさに、神集う國を象徴する見事なものでした。

また、大会前日には、第4回全国建築士フォーラム in 島根が開催され、5月に開催した青年建築士の集い（日高大会）をもとに、北海道ブロック代表という立場で、森青年委員長が『地域の産業を学ぶ in 日高～ホッカイドウ競馬～』と題して、地域実践活動報告を行いました。他ブロックの活動について知ることのできる貴重な場に参画した経験が、今後に活かされることを期待しています。



建築士フォーラム



交流セッション



石見神楽



記念撮影



出雲大社